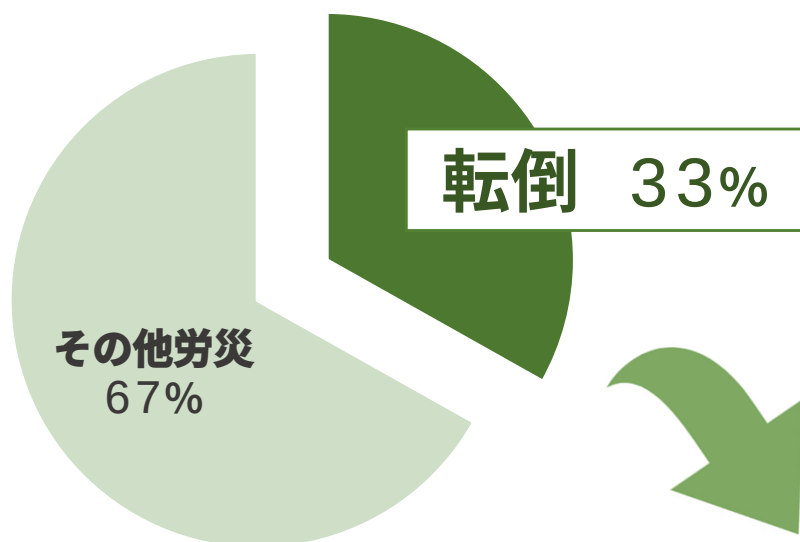


転倒ゼロに向けた意識改革を!!

介護施設において、転倒災害が多発しています。

令和5年労働災害発生状況



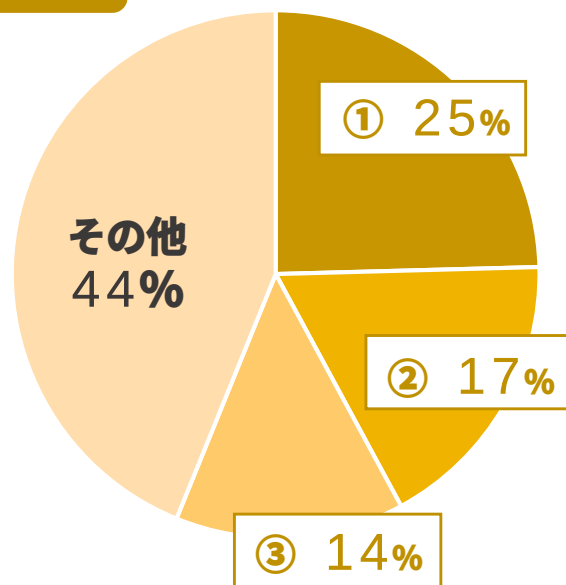
356件中118件が
転倒災害!



対象: 静岡県内
業種: 社会福祉施設 (高齢者介護施設、障害者福祉施設、児童福祉施設等)
出典: 労働者死傷病報告

高齢者介護施設（入所系）における転倒災害TOP3

- ❗ ① **濡れた床** (調理場、浴室、雨等) で
すべって転倒
- ❗ ② **何もないところ** でつまずく、
足がもつれて転倒
- ❗ ③ **作業場・通路に置かれた物** (椅子、
荷物等) につまずいて転倒



介護施設SAFE協議会※参加企業にお勤めの方135人に災害が起こりやすいと思われる状況について①～③含めた7択によるアンケートをとったところ、回答の多かった順に①42%、②27%、③12%でした。足元の濡れた場所が危険と考えた方が一番多いようですね。働く職場には、①～③以外にも様々な転倒のリスクが潜んでいます。皆さんもぜひ、どのような場面で転倒のリスクがあるか考えてみましょう!

転倒災害の事例と3つの要因



浴室にて、
**利用者に声を掛けられて振り
返った際、床が濡れていたため、
すべって転倒!**



ケアのためのベッドに近づいた際、
足元にある**利用者のスリッパ**に
**気づかず、
つまずき転倒!**



油断、焦りなどの**心理的な要因**を無くすためには、普段から慌てずに周りを見る習慣をつけておくことが重要です。日常的な転倒のリスクを減らすことができます。

物理的な要因は従業員自らが気づいて、取り除ける要因もあります。
従業員同士で話し合っ、気づいた人が改善するような決まり事を作っておくことが効果的です。

近年、加齢による身体機能の低下を原因として、何も無いところで転倒する災害も増えています。
そのような**身体的な要因**による転倒のリスクを減らすためには、日常的な運動が効果的です。

職場3分
エクササイズ



静岡県HP
県民体操



ほんの少しだけ、**落ち着いて行動していたら、足元の障害物を片付けていたら、運動量を増やしていたら**、防げた転倒災害も少なくありません。

働く一人一人が、協力して意識改革に取り組み、**職場の転倒ゼロを目指しましょう!**



静岡県介護施設 S A F E 協議会



静岡労働局



静岡県



静岡市



浜松市



社会福祉法人

聖隷福祉事業団



社会福祉法人

天竜厚生会



(福)

静和会



(福)

春風会



中災防

中部安全衛生サービスセンター (制作協力)

